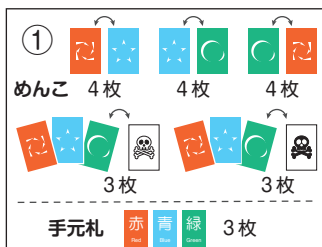




このゲームでは、表と裏で色の違う18枚のめんこを、バラバラに並べ、各プレイヤーが順にめくっていきます。そして、最初に自分の色のめんこを、場に10枚そろえた人が勝ちとなります。



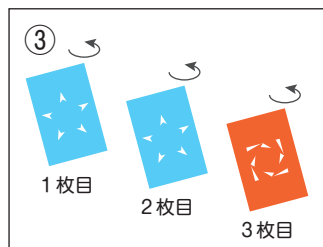
【早わかりルール説明】



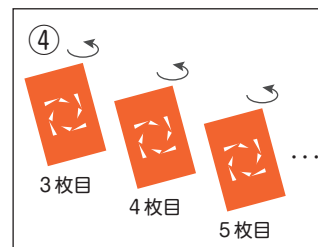
表と裏で色の違うめんこが18枚あります。色は3色（赤、青、緑）。片面が白ドクロ、または、黒ドクロのめんこもあります（手元札（3枚）もあります）。



めんこは、赤6枚、青6枚、緑6枚を表にして、バラバラに並べます。そして自分のめんこの色を決めます（自分の色の手元札を、自分の手元に置きます）。



順番を決めてゲームスタート（順番は時計回り）。自分の番が来たら、3枚ずつ、めんこをめくります（めくっためんこは、元の位置に置きます）。

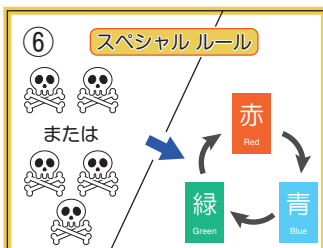


ただし、3枚目以降は、自分の色のめんこが出続ける限り、めんこをめくることができます。

〔上の図は、自分のめんこの色が赤の場合の例。〕



白ドクロが出たら、めんこをめくるのは、ストップ！また、黒ドクロが出たら、1回休みとなります（1回休みとなったら、手元札を裏返して、「1回休み」を表にします）。



白ドクロが出たときに、白ドクロが場に2枚、または、3枚になったら、プレイヤー同士で色を時計回りに交換して、ゲームを再開します（手元札も交換）。

※ちょっと難しいと思ったら、このルールは無しでもOK！



自分の番のときに、自分の色のめんこが、場に9枚になったら、「リーチ」と言わなければなりません。言い忘れたら、1回休みです。〔上の図では、赤がリーチ。〕

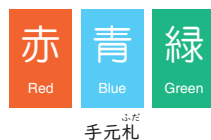


最初に自分の色のめんこを、場に10枚そろえた人が勝ちとなります。〔上の図では、赤の勝ち。〕

Finish!

ここからは、詳しい説明です（後で読んでもOK！）。

【セット内容】めんこ：18枚
手元札：3枚
説明書：1枚



【対戦人数】3人（または、2人）。

【対戦時間】5～10分程度。

【対象年齢】5歳以上（小さなお子さまから大きなお子さままで、また、成人の方から年配の方まで、どなたでも楽しめます）。

【めんこの種類】

めんこは、合計18枚。色は、赤、青、緑の3色。表と裏で、色が違います。片面が白ドクロ、または、黒ドクロのめんこもあります。めんこをめくっていくと、同じ色のめんこを最大10枚そろえることができます。

【準備】

- ①めんこの表が、赤6枚、青6枚、緑6枚、となるようにします（色の組み合わせに偏りなく、ゲームを始めたときに限り、後にまとめた「【めんこのセッティング】」のようにしてください）。
- ②めんこの位置を混ぜます（めんこの裏の色が分からないように位置を変えます）。めんこは、くっつきすぎないように、十分に間をあけます。
- ③自分のめんこの色を決めます。そして、自分の色の手元札を、色が表示されている方を表にして、自分の手元に置きます。
- ④順番を決めます。順番は、1番目の人から時計回りの順とします。（裏へ続く→）

(→表からの続き)

【遊び方】

自分の番が来たら、**3枚**ずつ、めんこをめくりま
(めくっためんこは、手元に持たずに、元の位置に置
きます)。

ルール1

3枚目にめくっためんこの色が、自分の色であれば、
さらにもう1枚めくることができ、4枚目にめくった
めんこの色が、自分の色であれば、さらにもう1枚
……というように、**3枚目以降は、自分の色のめんこ
が出続ける限り、めんこをめくることができます。**3
枚目以降にめくっためんこの色が、自分の色でなくな
れば、それ以上めんこをめくることができません。

ルール2

白ドクロが出たら、めんこをめくるのは、**ストップ！**
それ以上、めんこをめくることができません。

ルール3

黒ドクロが出たら、めんこをめくるのは、**ストップ！**
それ以上、めんこをめくることができません。さら
に、**1回休み**となります（**1回休み**となったら、手元
札を裏返して、「1回休み」を表にします。**1回休み**
が終わったら、元に戻します）。

ルール4

自分の番のときに、自分の色のめんこが、場に9枚に
なったら、「**リーチ**」と言わなければなりません。言
い忘れたら、**1回休み**となります。

ルール5『色交換』 **スペシャルルール**

白ドクロが出たときに、白ドクロの合計枚数が、場に
2枚、または、**3枚**になったら、**プレイヤー同士で色
を時計回りに交換**（手元札も交換）。**交換後の色を自
分の色として、ゲームを再開します**（交換前に「1回
休み」があれば、交換後の人が「1回休み」を引き継
ぎます）。

※ルール5『**色交換**』が、ちょっと難しいと思ったら、
このルールは無しにして、ゲームを行ってもOK！

【勝ち負け】

最初に自分の色のめんこを、場に**10枚**そろえた人が
勝ちとなります。

【補足】

- めんこをめくるときは、「イチ、ニ、サン、…」と声
に出して、みんなにわかるようにしよう。
- 白ドクロか黒ドクロが出ても、次以降の番の人がその
めんこをめくるのは、もちろんOK！
- 自分の番のときに、同じめんこを2回めくってはいけ
ません。
- 自分の番でないときに、相手がめんこをめくって、
自分の色のめんこが、場に9枚そろったときは、「リー
チ」と言う必要はありません。
- 自分の番でないときに、相手がめんこをめくって、
自分の色のめんこが、場に10枚そろって勝ってしま
うこともあります。
- 白ドクロが場に3枚あるときに、白ドクロを1枚めく
ると、白ドクロが場に2枚となりますが、このとき
は、ルール5『色交換』の対象外です。

【遊び方のヒント】

- ゲームが始まる前に、自分の色のめんこの位置を、よ
く覚えておこう。
- 自分の番が来たときに、自分の色のめんこがたくさん
出るよう、めくる順を工夫してみよう。
- 白ドクロをうまく使って、ルール5『色交換』を起こ
したり、防いだりしてみよう。

【めんこのセッティング】 ゲームを始める前に、めんこの表と裏を、次のように
すると、色の組み合わせに偏りなく、ゲームを始めることができます。

- 片面が白ドクロのめんこ（3枚）→ 白ドクロの面を裏にします。
- 片面が黒ドクロのめんこ（3枚）→ 黒ドクロの面を裏にします。
- 赤と青の面をもつめんこ（4枚）→ 2枚は赤を表に、残り2枚は青を表にします。
- 赤と緑の面をもつめんこ（4枚）→ 2枚は赤を表に、残り2枚は緑を表にします。
- 青と緑の面をもつめんこ（4枚）→ 2枚は青を表に、残り2枚は緑を表にします。

このようにすると、めんこの表は、**赤6枚、青6枚、緑6枚**、となります。
(めんこの裏は、**赤4枚、青4枚、緑4枚、白ドクロ3枚、黒ドクロ3枚**となります。)

表	赤	赤	赤	赤	赤	赤	青	青	青	青	青	青	緑	緑	緑	緑	緑	緑
裏	青	青	緑	緑	白ドクロ	黒ドクロ	赤	赤	緑	緑	白ドクロ	黒ドクロ	赤	赤	青	青	白ドクロ	黒ドクロ

【付記】

- めんこの絵柄に使用している色
(赤、青、緑)は、カラーユニバー
サルデザイン推奨配色セット制作
委員会の「カラーユニバーサルデザ
イン推奨配色セット」を参考にしま
した。

【絵柄タイトル】

- 赤：「渦巻く三角形」と
「旋回する四角形」
- 青：「5つの矢尻」と「青空の星」
と「影なる五角形」
- 緑：「三日月の親子」と「緑の太陽」

【製造・販売元】
共同印刷工業株式会社
〒615-0052
京都市右京区西院清水町156-1

【お問い合わせ先】
info@kppi.co.jp